

令和2年度 農業科

教科	農業	科目	動物活用	単位数	2	年次	2
使用教科書							
副教材等	無し						

1 担当者からのメッセージ（学習方法等）

動物活用では、『動物を活かして用い、効果のあるように利用する』ために必要なことを、座学や実習を通して学習します。

動物の各器官の位置、形態、構造（解剖）を知り、それぞれの器官がどのような働き（生理）をしているのかを学ぶことは、動物の遺伝、病気などを理解するために必要なことであり、また動物を飼育管理する場合にも直接、間接的に役立ちます。そのため、実際の動物や剥製標本、骨格標本などを活用し、解剖実習も実施することによって更に理解を深めます。

また、動物愛護論や動物関係法令、動物倫理についても学び、動物を活用するうえでの道徳感についても学習します。そして、身につけた知識や技術を動物の飼育管理実習に活かしていくことを最終的な目標とします。

2 学習の到達目標

- 動物愛護論・動物倫理学・動物関係法令を理解する。
- 動物の解剖と生理を理解する。
- 衛生管理、病気と感染について理解する。

3 学習評価（評価基準と評価方法）

観点	a:関心・意欲・態度	b:思考・判断・表現	c:技能	d:知識・技能
観 点 の 趣 旨	<ul style="list-style-type: none"> ・動物愛護論・動物倫理学・動物関係法令に関心を持ち、意欲的に学習に取り組んでいる。 ・動物の解剖・生理に関心を持ち、意欲的に学習及び解剖実習に取り組んでいる。 	<ul style="list-style-type: none"> ・動物を利用するうえで動物愛護や倫理とのバランスや社会との関わり方について考えることができる。 ・動物の飼育に関する科学的な見方と課題解決できる実践力、判断力を身につけている。 	<ul style="list-style-type: none"> ・動物観や動物愛護運動の歴史、倫理や社会について理解し、習得している。 ・動物の解剖・生理を理解したうえで、各動物種における飼育管理についての技術を習得している。 	<ul style="list-style-type: none"> ・動物愛護論・動物倫理学・動物関係法令を正しく理解し、実践的に飼育管理に反映することができる。 ・動物の解剖・生理について、正しく理解し、知識を身につけている。
評 価 方 法	学習状況の観察 ノート レポート 定期考査	学習状況の観察 ノート レポート 定期考査	学習状況の観察 ノート レポート 定期考査	学習状況の観察 ノート レポート 定期考査
<p>上に示す観点に基づいて、学習のまとめりにごとに評価し、学年末に5段階の評定にまとめます。</p> <p>学習内容に応じて、それぞれの観点を適切に配分し、評価します。</p>				

4 学習の活動

学期	単元名	学習内容	主な評価の観点				単元（題材）の評価規準	評価方法
			a	b	c	d		
1 学期	動物愛護論	日本人の動物観 西洋人の動物観 動物愛護運動の歴史 現代の動物愛護運動 とその思想	○	○	○	○	a: 動物愛護論・動物倫理学・動物関係法令に関心を持ち、意欲的に学習に取り組んでいる。 b: 動物を利用するうえで動物愛護や倫理とのバランスや社会との関わり方について考えることができる。 c: 動物観や動物愛護運動の歴史、倫理や社会について理解し、習得している。 d: 動物愛護論・動物倫理学・動物関係法令を正しく理解し、実践的に飼育管理に反映することができる。	学習状況の観察 ノートやレポートの記述 定期考査の結果
	動物倫理	動物倫理	○	○	○	○		
	動物関係法令	動物愛護及び管理に関する法律	○	○	○	○		
		動物愛護及び管理に関する基準 家庭飼育動物に関わる関係法令	○	○	○	○		
2 学期	動物の解剖と生理 (解剖実習)	生物と生命現象	○	○	○	○	a: 動物の解剖・生理に関心を持ち、意欲的に学習及び解剖実習に取り組んでいる。 b: 動物の飼育に関する科学的な見方と課題解決できる実践力、判断力を身につけている。 c: 動物の解剖・生理を理解したうえで、各動物種における飼育管理および飼料給与についての技術を習得している。 d: 動物の解剖・生理について、正しく理解し、知識を身につけている。	学習状況の観察 ノートやレポートの記述 定期考査の結果
		動物体の成り立ち	○	○	○	○		
		体部の名称及び器官の位置と名称	○	○	○	○		
		骨格と筋肉・皮膚・呼吸器・循環器・消化器・泌尿器・生殖器・神経系・内分泌系	○	○	○	○		
3 学期	飼育管理と衛生管理	動物の栄養管理	○	○	○	○	a: 動物の特性に関心を持ち、意欲的に学習及び解剖実習に取り組んでいる。 b: 動物の飼育に関する科学的な見方と課題解決できる実践力、判断力を身につけている。 c: 動物の解剖・生理を理解したうえで、各動物種における飼育管理についての技術を習得している。 d: 動物の特性や動物関係法令について、正しく理解し、知識を身につけている。	学習状況の観察 ノートやレポートの記述 定期考査の結果
		食性と飼料の種類	○	○	○	○		
		飼料の形状	○	○	○	○		
		消化と吸収	○	○	○	○		
3 学期	病気と感染	給餌と給水	○	○	○	○	a: 動物の特性に関心を持ち、意欲的に学習及び解剖実習に取り組んでいる。 b: 動物の飼育に関する科学的な見方と課題解決できる実践力、判断力を身につけている。 c: 動物の解剖・生理を理解したうえで、各動物種における飼育管理についての技術を習得している。 d: 動物の特性や動物関係法令について、正しく理解し、知識を身につけている。	学習状況の観察 ノートやレポートの記述 定期考査の結果
		飼料の保管と取扱い	○	○	○	○		
		衛生的飼育管理、飼育器材、個体識別、飼育設備の日常点検と動物の健康チェック、飼育管理、洗浄・消毒・滅菌	○	○	○	○		
		異常の発見と初期対応・感染症	○	○	○	○		
3 学期	動物飼育に関わる関係法規	狂犬病予防法、家畜伝染予防法、絶滅の恐れのある野生動物の種の保存に関する法律	○	○	○	○	a: 動物の特性に関心を持ち、意欲的に学習及び解剖実習に取り組んでいる。 b: 動物の飼育に関する科学的な見方と課題解決できる実践力、判断力を身につけている。 c: 動物の解剖・生理を理解したうえで、各動物種における飼育管理についての技術を習得している。 d: 動物の特性や動物関係法令について、正しく理解し、知識を身につけている。	学習状況の観察 ノートやレポートの記述 定期考査の結果

※表中の観点について a:関心・意欲・態度 b:思考・判断・表現
c:技能 d:知識・理解

※原則として一つの単元(題材)で全ての観点について評価することとなるが、学習内容(小単元)の各項目において特に重点的に評価を行う観点(もしくは重み付けを行う観点)について○を付けている。